

## 東日本大震災南三陸町追悼式

東日本大震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、復興への誓いを新たにするため、追悼式を開催します。

ご遺族および関係者の皆様にご案内申し上げます。

【日時】3月11日(日)【みやぎ鎮魂の日】

午後2時30分開式(午後1時30分開場)

【場所】ベイサイドアリーナ

☎ 保健福祉課被災者支援係 ☎ 29-6451

- 警報発令や荒天などにより開催に支障が生じた場合は、防災無線でお知らせします。
- ご参列は、平服でお越しください。無宗教形式での実施となります。
- 献花用の花は町で用意しています。香料・供花・供物などをご遠慮ください。
- 各地区から会場まで、送迎バスを運行します。
- 駐車場を用意していますが、なるべくBRT・町民バス・送迎バスをご利用ください。
- 式場は午後6時まで開いています。仕事などで式典に参列できない場合でも献花を用意しています。

### 送迎バス

1号車 荒町・林方面	
バス乗り場	時間
荒町バス停	13:15
陸前戸倉駅前	13:20
ホテル観洋前バス停(第3駐車場前)	13:30
林バス停(パーキング)	13:35
ベイサイドアリーナ	13:50

2号車 戸倉方面	
バス乗り場	時間
太田バス停(寺浜)	13:18
長清水バス停	13:20
藤浜バス停	13:25
滝浜バス停	13:28
津の宮バス停	13:30
水戸辺仮設入口	13:38
戸倉復興住宅集会所前	13:42
戸倉中仮設(集会所前)	13:45
大森バス停	13:55
ベイサイドアリーナ	14:00

3号車 保呂毛・学校方面	
バス乗り場	時間
保呂毛仮設ゴミステーション前	13:20
大船沢バス停	13:30
田尻畑仮設入口	13:35
中瀬町仮設バス停	13:37
志津川西復興住宅第一集会所前	13:43
志津川中学校職員室前	13:48
志津川小学校体育館前	13:53
ベイサイドアリーナ	14:00

4号車 前浜・後浜方面	
バス乗り場	時間
細浦入口バス停(今野産興入口)	13:25
清水団地集会所前	13:31
荒砥漁港バス停	13:37
荒砥小前バス停	13:40
平磯ゴミステーション前	13:45
平磯バス停	13:47
袖浜生活センター	13:49
ベイサイドアリーナ	13:58

5号車 入谷方面	
バス乗り場	時間
板林バス停	13:10
入谷復興住宅集会所前	13:13
雲南橋(桜沢仮設入口)	13:15
中の町バス停	13:17
芳賀商店前(岩沢仮設入口)	13:20
水口沢バス停	13:23
ひがし幼稚園前(入谷小仮設入口)	13:26
中野工務店前	13:28
童子下バス停	13:30
林際バス停	13:32
佐野前バス停	13:34
たら葉沢バス停	13:36
天神バス停	13:39
日輪バス停	13:41
秋目川バス停	13:44
小森仮設バス停	13:46
ベイサイドアリーナ	14:00

6号車 高区・寄木方面	
バス乗り場	時間
上沢バス停(集会所入口)	13:00
中在バス停	13:02
石泉活性化センター前	13:07
吉野沢団地前バス停	13:11
寄木(漁家民宿やすらぎ前)	13:27
葦の浜バス停	13:34
ベイサイドアリーナ	13:57

7号車 港・平成の森方面	
バス乗り場	時間
陸前港駅バス停	13:00
田の浦集会所バス停	13:09
名足復興住宅バス停	13:16
名足小学校前	13:19
馬場中山、高台団地入口	13:22
泊浜バス停	13:25
町道白松線稲淵側(自販機前)	13:28
栢沢バス停	13:33
平成の森バス停	13:36
栢沢防集団地集会所前	13:41
歌津中学校前バス停	13:45
伊里前復興住宅集会所前	13:50
皿貝バス停	13:57
ベイサイドアリーナ	14:10

### ■駐車場

駐車場は、ベイサイドアリーナ、役場第2庁舎、病院・ケアセンターをご利用ください。

\*バス乗り場は右の「のぼり旗」が目印です。  
\*交通事情等により各バス乗り場への到着時刻には変動があります。  
\*2号、4号、5号車、6号車はジャンボタクシーとなります。



「昨年6月に開校した志翔学舎での先生たちとの出会いが将来を考える大きなきっかけとなったんです」と話す三浦さん

### 南三陸なうな人

古里への想いを胸に  
新たな一歩を踏み出す。

【三浦 千裕さん】

新たな門出の時期となる3月、志津川高校3年の三浦千裕さんもその1人だ。戸倉地区波伝谷出身の三浦さんは、獅子舞や盆踊りなど、たくさん行事がある同地区で過ごすことが好きだった。そんな地区を大地震が襲ったのは、三浦さんが小学5年生のとき。隣町の校舎での授業、復旧復興の過程で変わりゆく古里の光景など、激動の中で多感な時期を歩んできた。

そんな中、地域活動をサポートするジュニアリーダーの兄に憧れ、自身も活動に参加するようになった。地域の子どもたちと田東山に登ったり、釣りをしたり、他県の同世代との交流など充実した日々を過ごした。「南三陸は本当になにもない町で、都会に行きたいと思って来た」というが、こうした活動の中で、徐々に南三陸の魅力に気づいたという。卒業後は、山形にある大学に進学し、「コミュニティ・デザインを学ぶ。「将来は南三陸に戻って地域を盛り上げたい」と意気込む。

目前に控えた高校卒業に「寂しさもあるけれども、大学が楽しみ」と前を見据える三浦さん。「南三陸を日本で一番チャレンジに寛容な町にしたい」と大きな野望を語った。その未来は、大きな夢と希望で満ちている。

南三陸なう 検索 千裕さんをもっと詳しく知りたい人は、南三陸公式ブログ 南三陸なうをご覧ください。

### ネイチャーセンター準備室だより

#### 「海藻の森とタコ」

マダコの豊漁でにぎわった秋のあと、水温がぐっと下がる冬から春はミズダコたちが南三陸の海の主役になります。マダコが暖かい海を代表するタコだとすれば、冷たい海を代表するタコがミズダコです。暖流と寒流がほどよく混ざり合う南三陸の海は、両方のタコが同じ海にみられる貴重な海と言えます。

マダコは2~3kgほどのサイズですが、ミズダコは最大で40kg、全長3mを超えることもある大型のタコです。写真は椿島周辺の藻場で撮影されたミズダコ。まだ若いミズダコでしょうか。その後ろにはアラメの森が見えます。貝やカニが大好物のタコにとって、海藻の森(藻場)は大切な餌場となり



ます。藻場は海の動物たちにとっても、私たち人間にとってもかけがえのない存在なのです。

仙台うみの杜水族館では、今月末まで、南三陸の海で暮らすタコ(マダコ)の展示を行っています。餌の入ったボトルのふたを開ける様子も水槽で間近に観られるとのこと。南三陸のタコの勇姿をぜひご覧ください。

農林水産課 ネイチャーセンター準備室 ☎25-9703